



魅力その4

# 神話・歴史

Myths and history



霧島ジオパーク公式キャラクター

キラッチ

天孫降臨の舞台、神話・歴史とのかかわり

## 日本の神話

### 古事記

「此地者 向韓國 有真之道通笠沙之御前 又此地者 朝日之直刺國 夕日之日照國也故 此地甚吉地也。」（此地は韓国に向かひ、笠沙の御前を真来通りて、朝日の直刺す國、夕日の日照る國也。 故、此地は甚だ吉地也。） これは、古事記の天孫降臨の一節にある、ニニギノミコトが高千穂峰に降臨した時の言葉です。

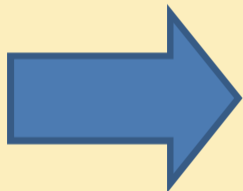
## 霧島神宮の遷座

### 御鉢の噴火による遷座

霧島神宮はもと高千穂峰と御鉢噴火口との中間の脊門丘（せとお）に奉斎されていましたが、御鉢火山の度重なる噴火により、霧島神宮古宮址の場所に移されましたが、そこも御鉢火山の13世紀の噴火により焼失し、現在の霧島田口の位置に遷座されました。



【霧島神宮古宮址】



13世紀の噴火



【現在の霧島神宮】



【8世紀の御鉢噴火の溶岩末端】

### 御鉢霧島神宮溶岩

御鉢火山の8世紀の噴火に時に噴出した溶岩は、現在の国立公園記念碑の所まで流れました。ここではその溶岩の末端を観察することができます。

## 龍馬とお龍

### 新婚旅行

高千穂峰は龍馬とお龍が新婚旅行で訪れたことで有名ですが、下の写真にある大きな岩は大正時代の噴火の時に出了たもので、新婚旅行当時にはありませんでした。



【御鉢火口縁の火山弾】

わしが登っちゆう時はなかつたぜよ！



## 霧島六社権現

### 霧島六社権現

霊峰・高千穂峰を取り囲むように建立された霧島六社権現では、日本神話に記される日向三代の神々が祀られている。  
※明治6年、夷守神社は霧島岑神社に合祀され、現在は5社。

10世紀に修験道の信仰を確立した性空上人が霧島における修験道の拠点として開いたと言われています。



【霧島神宮（霧島市）】



【霧島東神社（高原町）】



【霧島岑神社（小林市）】



【狭野神社（高原町）】



【東霧島神社（都城市）】



# 霧島ジオパーク